

# 2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

校番2	福山市立想青学園
最終更新日	2022年(令和4年)4月1日

## I 福山市

ミッション ビジョン	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。
---------------	---

## II 自校

ミッション
義務教育学校として、学校・地域・保護者が目標やビジョンを共有し、一体となって、主体的に学ぶ子どもたちを育む

学校教育目標
学びあい、育ちあう

現 状
<p>&lt;児童・生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学びたいことや学び方を自分で考えて取り組むなど、主体的に学ぶ子供は多いが、そこから新たな課題を発見し、さらに取り組もうとする子供は少ない。</li> <li>○授業だけでなく、行事や児童会など様々な場面で、自分達で企画したり計画を立てたりして取り組む。</li> <li>○ボランティア活動などに積極的に参加し、人の役に立ちたいと考えている子供が多い。</li> <li>○校内外でよくあいさつをし、来校者や地域の方からもほめられる。</li> <li>●自分のよさに気づけていない子供がいる。</li> <li>●新型コロナウイルスの影響で体を動かす機会が減り、体力の低下がみられる。</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの学級でも「子供主体の学びづくり」に取り組んでいる。</li> <li>○生徒は授業で仲間と対話し、自分の考えを深めたり、広げたりしている。</li> <li>●「学びがおもしろい」と感じていない児童・生徒が1割程度いる。</li> <li>●地域に愛着を持っている子供が8割程度にとどまっている。</li> </ul>

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	「表現力」, 「共感力」, 「チャレンジ精神」
めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えや思いを、相手が理解しやすいように、工夫しながら伝えることができる子供</li> <li>○相手の考えや思いを聞き、協働し、高め合うことができる子供</li> <li>○取り組むだけでなく、解決後も新たな課題を発見し、解決しようとしてさらに取り組むことができる子供</li> </ul>

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	スキル	意欲・態度	価値観・倫理観	
	表現力 表	共感力 共	チャレンジ精神 挑	
めざす子ども像	レベル1	自分の考えや思いを伝えることができる。	相手の考えや思いを聞くことができる。	あきらめることなく、果敢に取り組むことができる。
	レベル2	自分の考えや思いを、相手に理解してもらえるように伝えることができる。	相手の考えや思いを聞き、相手に寄り添うことができる。	目的意識を持ち、試行錯誤しながら取り組むことができる。
	レベル3	自分の考えや思いを、相手が理解しやすいように、工夫しながら伝えることができる。	相手の考えや思いを聞き、協働し、高め合うことができる。	取り組むだけでなく、解決後も新たな課題を発見し、解決しようとしてさらに取り組むことができる。

研究	テーマ	学ぶ喜びを感じられる授業づくり
	内容	SOSEI 学や各教科をつなげながら、子供が学ぶ喜びを感じられるような授業づくりに取り組む。
めざす授業の姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との共有によって、自分の考えを深めたり広めたりする授業</li> <li>・自分に合った方法や場所を選ぶことができる授業</li> <li>・子供が問いをもち、自ら解決に向かう授業</li> </ul>

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立想青学園

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	力 <sub>セ</sub> 達 <sub>成</sub> 評 <sub>価</sub>	評 <sub>価</sub>	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力 <sub>セ</sub> 達 <sub>成</sub> 評 <sub>価</sub>	評 <sub>価</sub>	総合 評 <sub>価</sub>
1	地域とともに 学ぶことに喜 びを感じられ る子供を育成 する。	★	新規	①「地域に愛着を持 っている。」  ②「学ぶことが楽し いと感じている。」 児童・生徒肯定的回答 90%以上	① SOSEI学と各 教科のつなが りをもたせた 授業を実施す る。表 子	①SOSEI学などの授業を 通して、地域への愛着が 高まった。 児童・生徒肯定的回答 90%以上								
1	共感しあう 集団づくり を通して、 自己肯定感 を育成す る。		新規	①「自分にはよいと ころがある。」 児童・生徒肯定的回答 85%以上	①各教科、特別活 動、部活動等を通 じた協働的な集 団作りに取り組 む。子 因	①「学校が楽しい」とい うアンケートの肯定的評価 を高まった。 児童・生徒肯定的回答 85%以上								
				②「学ぶ喜び」を伸 ばす研究テーマ をグループごと に設定し、実践・ 検証・交流を行 う。子	②グループごとの実践や 交流の機会を2カ月に 1回実施する。									
				②ボランティア活 動や委員会活動を 積極的に実施し、 他者のために行動 できる場の設定を 行う。子	②「人の役に立ちたい」と いうアンケートの肯定 的評価を高める。 児童・生徒肯定的回答 85%以上									

1	自己の体力の課題に向き合い、ねばり強く挑戦し続ける子供を育成する。	新規	<p>①体力を向上できた子供 1回目:6月 2回目:12月 伸びた子供 80%以上</p>	<p>①運動の心地よさ、体を動かすことの楽しさを感じることのできる場の設定</p> <p>②体力テスト結果をもとにした早期からの自己目標の設定 ☑</p>	<p>①体を動かすことが楽しいと感じる児童・生徒 児童・生徒肯定的回答 85%以上</p> <p>②自己課題1種目を設定し、体力向上を達成する。 体力向上を達成する児童・生徒の割合 80%以上</p>								
1	限られた時間の中で質の高い教育を実現する。	★ 新規	<p>①働き方改革の推進 ・時間外勤務 月45時間未満 年間360時間未満 達成率100%</p>	<p>①時程の見直しによる週1回の定時退校日の確実な実施 ②業務の見直しの場の設定(日常的に) ③入校、退校時刻記録の確実な入力と自己管理 ④三者懇談前など、勤務時間内に成績の整理等ができる時間の確保</p>	<p>①「教育活動に意義ややりがいを感じる」 教師肯定的回答 100%</p> <p>②「授業づくりにあてる時間確保」 教師肯定的回答 90%以上</p>								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。